

本館所蔵『奥羽観蹟聞老志』『風土記御用書出』が 県指定有形文化財に指定されました

平成19年10月26日、宮城県図書館所蔵の『奥羽観蹟聞老志』(佐久間義和(洞蔵)編著 享保4年 20冊)と『風土記御用書出』(安永年間 66冊)が、県有形文化財(書跡・典籍)の指定を受けました。

『奥羽観蹟聞老志』は、享保4年(1719)に完成した地誌です。第四代藩主伊達綱村が、藩史官だった佐久間洞蔵に命じて編纂させたもので、仙台藩の地誌としては初期史料とされます。仙台領を中心に、官制、旧所名跡、故事、古歌、風習などが精度を保って収録され、江戸期における宮城県の地理、歴史、産業などを伝える資料です。

『風土記御用書出』は、安永年間(1772-1781)に採られた、地域ごとの詳細な記録資料です。仙台藩が村、あるいは知行所ごとに提出させたもので、村名の由来、男女別人口、牛馬の数、山川など、あらかじめ定められた項目について記述されています。仙台藩の藩勢、地理などを伝える資料であると同時に、他の絵図類の補完にも意義をもつ資料です。



『奥羽観蹟聞老志』



『風土記御用書出』

図書館 a r o u n d t h e みやぎ

◆シリーズ第22回

大崎市図書館

館長 三塚 一秋

大崎市図書館は、明治38年日露戦争戦勝記念として、古川小学校に「古川文庫」が誕生したのが始まりです。

大正13年には、町内有志の図書寄贈等により、郡役所跡に古川町図書館が開設(蔵書1,500冊)されました。昭和35年3月から、市内に配本所を設けて巡回文庫を始め、昭和36年4月には古川市図書館として新たなスタートを迎えました(蔵書6,000冊)。昭和44年8月4日には、図書館庁舎を現在地(旧税務庁舎)に移転しています。昭和46年6月には、専用の移動図書館車(マイクロバスを改造)を購入、「ともしび号」として運行をスタートさせ(平成14年10月まで運行)、昭和53年5月20日には、庁舎を建替えて現図書館が開館しました。

平成18年3月31日に1市6町が合併して大崎市になると、市政規模が倍になり市民に対するサービス面で格差が生ずることから、旧6町地域に対するサービス向上を目指し、平成18年9月から基幹公民館図書室に宅配を利用した図書の貸出しサービスを開始、さらに平成19年2月より各基幹公民館図書室に検索システムを導入しました。

インターネットを利用して蔵書検索及び予約が出来るようにして、市内どの区域からも居ながらに図書の貸出しサービスを受けられるように整備したところです。今後は、さらに利便性を高めるため、図書の管理システムでのネットワーク化に

よる一元管理を視野に入れ、市民の図書館を目指し、機能の充実と整備を図ってまいります。

多くの市民に満足してもらえる図書館になるよう、これからも資料の充実及び職員の資質向上に努め、利用者のサービス向上に努力していきたいと考えて取り組んでおります。



大崎市図書館

- 蔵書冊数：131,036点(平成18年度末)
- 貸出冊数：195,225点(平成18年度実績)
- 開館時間：9:00~18:00
- 休館日：毎週月曜日、祝日、年末年始、館内整理日、特別整理期間
- 交通：東北自動車道古川インターチェンジから車で約5分
東北新幹線「古川駅」から徒歩で約15分

住所：〒989-6172 大崎市古川前田町2番28号
TEL:0229-22-0002 FAX:0229-22-0421
ホームページ：http://www.city.osaki.miyagi.jp/

図書館からのお知らせ



INFORMATION

宮城県図書館は移転10周年を迎えました。

特別展 「きらめく叡智と美のしずく展Ⅶ」を開催中です

今回が7回目となる「きらめく叡智と美のしずく展」では、宮城県図書館が総合戦略プロジェクトとして実施している「22世紀を牽引する叡智の杜づくり事業」のうち、「貴重資料保存修復事業」の全貌をご紹介します。

- 期間 平成20年3月4日(火)から平成20年5月31日(土)
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
- 場所 展示室(2階) ●入場は無料です。
- 問い合わせ 企画協力班(1階) 電話 022-377-8444

企画展「書物鑑賞の基礎知識」を開催中です

企画展「書物鑑賞の基礎知識」では、本の大きさ・構造等や、装幀の持つ魅力、本を鑑賞するポイントについて、実際の本を展示し、わかりやすく解説

- しています。物(オブジェ)としての“本”の魅力をご紹介します。
- 期間 平成20年3月4日(火)から平成20年5月31日(土)
(図書館開館日の午前9時30分から午後5時まで)
 - 場所 展示室(2階) ●入場は無料です。
 - 問い合わせ 利用サービス班(2階) 電話 022-377-8447

第39回 子どもの本展示会を開催します

今年も、子どもの読書週間に合わせて「子どもの本展示会」を開催します。図書館、学校、地域、家庭など、さまざまな場面での「子どもと本との出会い」に役立つことを目的に、1500冊余りの児童書を展示します。

- 期間 平成20年4月19日(土)から平成20年4月30日(水)
(図書館開館日の午前10時30分から午後4時30分まで)
- 場所 ホール養賢堂(2階) ●入場は無料です。
- 問い合わせ 利用サービス班(2階) 電話 022-377-8447

表紙エッセイ / 柏葉幸子さん



かしわば・さちこ 童話作家。1953年岩手県花巻市出身。東北薬科大学卒業。74年『霧のむこうのふしぎな町』で講談社児童文学新人賞、76年には日本児童文学者協会新人賞を受賞。98年『ミラクル・ファミリー』で産経児童出版文化賞、07年『牡丹さんの不思議な毎日』で同賞大賞を受賞。『鬼ヶ島通信』同人。また「青い鳥文庫ホームページ」(講談社)に「つづきの図書館」を連載中。作品に「プレーメンバス」「ファンファン・ファーマシー」など多数。盛岡市在住。

ことばのうみ

題字 作家 高田 宏氏

本誌タイトル「ことばのうみ」は、本館第8代館長・大槻文彦編著による日本最初の近代的国語辞典『言海(げんかい)』(1889~1891年刊行)に由来する。

第27号 2008年3月発行

編集・発行

宮城県図書館

〒981-3205
仙台市泉区紫山一丁目1番地1
TEL022-377-8441 (代表)
FAX022-377-8484
ホームページ
http://www.library.pref.miyagi.jp/

デザイン/印刷 仙台共同印刷